

# 記載例

## 様式第二十五

- ★ 設備の取得金額の若干の変更、資金調達額の若干の変更、法人代表者の交代等、認定を受けた「先端設備等導入計画」の趣旨を変えないような軽微な変更は、変更申請は不要です。  
(変更申請が必要か判断しかねる場合はご相談ください。)
- ★ 旧先端設備等導入計画の写し(コピー)は提出不要です。
- ★ 変更申請の場合でも、認定経営革新等支援機関による事前確認書が必要です。

### 先端設備等導入計画の変更に係る認定申請書

令和3年 6月 16日

京都市長 門川 大作 様

住 所 〒000-0000  
京都市中京区〇〇〇〇番地  
名 称 及 び 株式会社 〇〇製作所  
代表者の氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 ⑩

京都市の認定日(認定書右上部の日付)を記載してください。

2回目以降の変更申請の場合は、直近の変更認定書の認定日を記載してください。

令和 3年 6月 20日付けで認定を受けた先端設備等導入計画について、下記について別紙のとおり変更したいので、中小企業等経営強化法第53条第1項の規定に基づき申請します。

#### 記

変更申請の概略について簡略に記載してください。

#### 1 変更事項

- ・ 2 計画期間の変更
- ・ 4 先端設備の2台、建物1棟の追加導入

#### 2 変更事項の内容

- ・ 計画期間を1年延長
- ・ 先端設備、建物を追加、それに伴う取組内容や将来の展望の内容変更  
(詳細は別紙「先端設備等導入計画」を参照)

(備考)

用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

「先端設備等導入計画」は、すでに認定を受けた「先端設備等導入計画」を変更・追記する形で作成してください。  
変更・追記部分には下線を引き、一目で変更点が分かるようにしてください。

別 紙

## 先端設備等導入計画

### 1 名称等

|   |                 |                |
|---|-----------------|----------------|
| 1 | 事業者の氏名又は名称      | 株式会社〇〇製作所      |
| 2 | 代表者名（事業者が法人の場合） | 代表取締役 〇〇 〇〇    |
| 3 | 法人番号            | ×××××××××××××× |
| 4 | 資本金又は出資の額       | 1,000 万円       |
| 5 | 常時使用する従業員の数     | 12 人           |
| 6 | 主たる業種           | 輸送用機械器具製造業     |

### 2 計画期間

令和3年 6月 ～ 令和6年 7月

### 3 現状認識

#### ① 自社の事業概要

自動車部品の製造を事業の中核としつつ、電動工具の部品など、多品種小ロットの金属製品の部品製造を行う。

#### ② 自社の経営状況

売上は平成31年3月期210,000千円、令和2年3月期225,000千円と増加しており、営業利益についても平成31年3月期1,200千円から令和2年度3月期2,700千円と増加している。要因としては、大手取引先からの受注量の増加や、熟練工を中心に歩留まり改善に向けた地道な取組みの成果によるものである。

他方で、(1)近年設備投資を行っておらず、現在の受注量を大幅に増加させることは難しいこと、(2)熟練工が定年退職の時期を迎えており、適切な工程設計ができる人員が不足しているほか、長年の経験を活かした歩留まりの改善や品質の向上を図るには限界があることが、今後、当社の生産性を高め、業績を伸ばしていくうえでの課題である。

### 4 先端設備等導入の内容

#### (1) 事業の内容及び実施時期

##### ① 具体的な取組内容

・現在の設備は導入から年数が経っており、今後の受注増に対応できないことから、新たにNC旋盤1台を導入する。新しい設備の導入により、従来よりも高精度な加工が可能になることに加え、生産期間の短縮が見込めることから、新規取引先の開

拓も含めて受注増に取り組む。

・受注が増え、新しい部品を製造する場合であっても品質を維持していけるよう、新たに三次元測定器を導入して熟練工以外の従業員であっても検査にばらつきが生じない体制の構築を図る。

・現在の工場が狭く、作業効率が低下していることから、新たに品質管理棟を建設し、品質管理、検査工程を移設する。また、新たに導入する三次元測定器は、品質管理棟に設置する。

・バリ取り作業を短縮するため、新しい研磨機を導入する。これにより、より多くの部品のバリ取り作業が可能となり時間を短縮することが出来る。最終仕上げのみ手動で行うことにより、提供する部品の品質を維持する。

・取引先の複雑な形状の部品の要望に素早く対応するため、新たに導入したNC旋盤に対応する三次元CAD/CAMシステムを導入する。従来作業者が直接入力していた加工プログラムをパソコン上で管理することで、現場作業者の工程が減り、より生産期間の短縮を見込むことが出来る。

・原材料や製品を保管するための倉庫を新設し、需給の増減に対応できるようにする。

### ③ 将来の展望

・新たな設備の導入により、より多くの受注に対応できるとともに、品質管理棟の完成により、作業効率が向上する。また、積極的な新規顧客の開拓にも取り組み、売上の増加を図っていく。さらに倉庫を新設することにより、一定数の需給の増減に柔軟に対応できるようにする。

・熟練工が定年退職を迎え、貴重な経験が失われることへの対応及び人員の確保が当面の懸案であるが、三次元測定器の導入による品質管理や、製造工程と検査工程の統合による工程の短縮、機械を新調することによる作業時間の縮小、CAD/CAMシステムの導入による加工プログラムのパソコン管理により、熟練工以外の従業員であっても品質のばらつきがなく、限られた人員でもより多くの受注に対応できる体制を構築することにより、大幅な生産性の向上を実現することができる。

### (2) 先端設備等の導入による労働生産性向上の目標

| 現状<br>(A) | 計画終了時の目標<br>(B) | 伸び率<br>(B - A) / A |
|-----------|-----------------|--------------------|
| 8,000 千円  | 9,150 千円        | 14.3%              |

基準年度(直近の事業年度末)比で労働生産性が年平均3%以上向上することが必要となります。

(伸び率: 計画期間 3年→9%以上, 4年→12%以上, 5年→15%以上)

### (3) 先端設備等の種類及び導入時期

<建物以外>

| 設備名/型式 | 導入時期 | 所在地 |
|--------|------|-----|
|--------|------|-----|

|   |                               |         |              |
|---|-------------------------------|---------|--------------|
| 1 | NC 旋盤/AAA-0123                | 令和3年6月  | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 |
| 2 | 三次元測定器/XYZ99                  | 令和3年6月  | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 |
| 3 | 生産管理システム<br>/ABC55 II         | 令和4年2月  | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 |
| 4 | 研磨機/FF-777                    | 令和3年10月 | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 |
| 5 | 三次元 CAD/CAM シス<br>テム/HIG-0101 | 令和3年11月 | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 |

|   | 設備等の種類 | 単価<br>(千円) | 数量 | 金額<br>(千円) | 証明書等の<br>文書番号 |
|---|--------|------------|----|------------|---------------|
| 1 | 機械装置   | 20,000     | 1  | 20,000     | 123456        |
| 2 | 器具備品   | 10,000     | 1  | 10,000     | H30-0015      |
| 3 | ソフトウェア | 5,000      | 1  | 5,000      | 2008-1001     |
| 4 | 機械装置   | 8,000      | 1  | 8,000      |               |
| 5 | ソフトウェア | 3,500      | 1  | 3,500      |               |

減価償却資産の種類を記載してください。

工業会証明書を取得されていない場合は空欄で提出してください。

|               | 設備等の種類 | 数量 | 金額 (千円) |
|---------------|--------|----|---------|
| 設備等の種類別<br>小計 | 機械装置   | 2  | 28,000  |
|               | 器具備品   | 1  | 10,000  |
|               | ソフトウェア | 2  | 8,500   |
|               |        |    |         |
| 合計            |        | 5  | 46,500  |

<建物>

|    | 導入時期   | 所在地          | 金額 (千円) |
|----|--------|--------------|---------|
| 1  | 令和3年6月 | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 | 90,000  |
| 2  | 令和3年8月 | 京都市〇〇区〇〇町〇-〇 | 3,500   |
| 3  | 年 月    |              |         |
| 4  | 年 月    |              |         |
| 5  | 年 月    |              |         |
| 合計 |        |              | 93,500  |

合計金額を合わせてください。140,000 千円

5 先端設備等導入に必要な資金の額及びその調達方法

| 使途・用途     | 資金調達方法 | 金額 (千円) |
|-----------|--------|---------|
| 先端設備等購入資金 | 融資     | 120,000 |
| 先端設備等購入資金 | 自己資金   | 20,000  |

